

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 4月26日

事業所名 ほたるぼし

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	100%	0%	広いスペースを確保しています。	・清潔、整頓が行き届いた環境作りをします。
	2 職員の配置数は適切である	0%	100%	他事業所からの応援体制があります。	・計画的な人材雇用を行っていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	67%	33%	児童に合わせた家具類の配置をしています。	・児童に合わせて昇降台などの整備をします。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	33%	67%	月に1回ミーティングを行っています。	・非常勤を含めた全職員が参加できるように取り組んでいきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	67%	33%	年間計画の策定に活用しています。	・意見を基にした行事や親睦会の企画を実施していきたいと思えます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	67%	33%	法人のホームページ上で公開します。	・自己評価の結果を受け止めて業務改善を行っていきます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	33%	67%	現在までのところ外部評価を活用したことはありません	・府の指示に従って、活用・検討していきます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	法人の研修がある	・法人全体での研修機会があります。事業所別に専門研修も実施していく予定です。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	33%	67%	児童発達管理責任者が不在のため、代理が作成している。	・児発管の不在の解消。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0%	100%	特別なツールは導入していません。	・アセスメントツールの選定と活用。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	立案は担当が行い、会議で全職員の意見を取り入れています。	・SSTや感覚統合など専門性の向上を目指します。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	児童毎の特性に合わせたプログラムの実施	・利用者の情報を共有しながら、プログラムの設定をしています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	33%	67%	平日とそれ以外で課題設定を分けていません。	・休日、長期休暇中の適切な課題設定にむけて取り組んでいます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	個別活動と集団活動をそれぞれを設定しています。	・より質の高い支援のための研鑽に努めます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	支援開始前にミーティングを行っています。	・PDCAを重ね、モニタリングや個別支援計画の作成時に活用していきます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	67%	33%	一日の振り返りとして終礼を行っています。	・非常勤職員は終礼に参加していないため、申し送りノートの活用等工夫しています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	67%	33%	職員の入替わりがあり、記録するポイントについて周知していない点があります。	・日々の記録を参考に、支援方法の改善と支援計画の見直しに活用しています。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	67%	33%	日々、口頭での情報共有を行いながら意向の確認を行っています。	・定期的に、また必要に応じてモニタリングを行い、個別支援計画の見直しをしていきます。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	0%	100%	基本活動を複数組み合わせ合わせた支援は行えていません。	・プログラムの構築と、職員のスキルアップをおこなっていきます。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・責任者が出席しています。	・他事業所との連携を密にし、包括的、連続性のある支援の提供に尽力します。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	67%	33%	連絡調整や、児童の情報・支援方針の相談を行っています。	・年間計画、行事等、相互に関りが持てる関係づくりを目指します。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	100%		・対象者無し。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	33%	67%	現在、就学前の事業所と情報交換を行ったことはありません。	・必要に応じて各関係機関との連携を取っていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	67%	33%	移行先の事業所、家族様の意向に合わせて情報の提供を行います。	・利用者本人、家族様と連絡調整をしつつ、必要に応じて情報提供を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0%	100%	現在のところ関りは持っていません。	・専門機関に限らず、研修には積極的に受講を薦め、職員の育成に活用していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	100%	0%	地域の公園を利用することが多く、他児童との関わる機会は多くあります。	・機会があれば児童館等との関わりを持ちたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	定期的に責任者が出席しています。	・他事業所との連携を図りながら地域支援の充実に参画していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時等に、日々の情報共有を行っています。	・ニーズを捉え、生活と連続した個別支援計画の設定を行います。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	33%	67%	相談に応じて行います。	・法人の専門職と協働しつつ対応させていただきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	67%	33%	契約時に説明を行っています。	・契約時以外でも、不明点や確認したいことがあれば随時対応いたします。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	児童と保護者双方に対して助言と支援を行います。	・相談内容に応じてチームで検討し、対応させていただきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	コロナ禍以降中断しています。	・今年度から親睦イベントの再開を目標にしています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情・相談窓口を設置してあります。	・ご意見を真摯に受け止め、誠実に対応させていただきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	33%	67%	法人の年間レポートがあります。	・月間予定については毎月のカレンダーでお知らせします。その他イベント等は都度案内をします。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報書類は鍵付きの部屋にて保管しています。	・個人情報の持ち出し、漏洩が無いよう管理をしていきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	絵カード等活用し、児童の特性に合わせた支援をしています。	・聞き取りシートを配布しています。児童の好きな感覚や細かな好みを保護者の方と共有しながら支援を行います。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	現在のところ地域住民を招待した実績はありません。	・高齢者福祉施設と併設しているため、利用される高齢者とイベント等での関りがあります。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	33%	67%	法人のマニュアルがあります。	・職員への周知を進めていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	67%	33%	年2回の避難訓練を実施しています。	・昨年度は児童が参加できていないので、参加していただける形に改善していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	虐待防止委員会を設置し、年間計画にの取って研修会を行っています。	・虐待等不適切な対応が無いよう、職員向けに事例検討や研修会を行います。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	現状身体拘束が必要な児童がいません。	・必要があると判断された場合、身体拘束適正化委員会で検討する予定です。その上で身体拘束を行う場合は制度に従った対応をいたします。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	保護者に確認を取って対応しています。	・入所時、および年度の切り替わり時に聞き取りシートを配布します。また保護者と連絡を取りつつ安全に配慮して参ります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	終礼での振り返りで事例を収集、対策の検討をしています。	・事例集を参考に、職員の教育や環境整備に活用しています。